

ファイナルファンタジーII 攻略ブック

Vol.3

攻略に役立つ最新情報ファイルPART2

魔導師ばかりの町ミシディアから
不思議な原住民の住む南の島へ

1989年2月3日発行（毎月第1・第3金曜日発行）第5巻第3号（通巻73号）



ファミリーコンピュータ Magazine
No.3 特別付録②

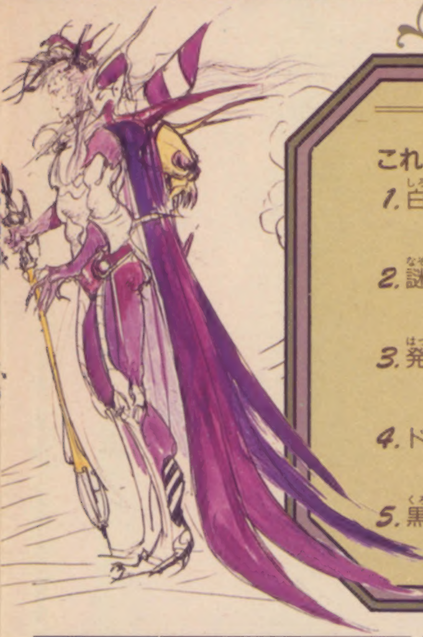


ファイナルファンタジーII 攻略ブック

Vol.3

攻略に役立つ 最新情報ファイルPART2

魔導師ばかりの町ミシディアから
不思議な原住民の住む南の島へ



もくじ

これまでのストーリー

1 ヒルダ王女に、反乱軍の合言葉「のばら」を教わる



ヒルダ王女に帝国軍から助けられ、アルテアのアジトで反乱軍の一員に。

2 フィンで出会った傷ついた兵士は、王子スコット



パブの奥の隠し部屋にいたスコットは、「リング」を託し、死んでしまう。

3 白魔導師ミンウが仲間に加わり、「カヌー」も手に入る



ヒルダ王女に「リング」を見せ、ミンウに話しかけると、ミンウが仲間に。

4 「ミスリル」を求めて、サラマンドのヨーゼフに会う



ヨーゼフは「ミスリル」のありかを知るというが、信用してくれない。

5 セミテの滝の鉱山に捕われたサラマンドの男たちとヨーゼフの娘を救出



ヨーゼフの娘と捕虜を全員助けたことで、ヨーゼフに信用してもらえそう。

6 セミテの滝の洞窟の奥でサージエントを倒し、「ミスリル」を手に入れた



アルテアの町のトブールに「ミスリル」を渡し、武器・防具を作ってもらう。

7 バフスクで帝国軍が大戦艦を建造中。秘密の通路をスパイから聞いたが



秘密の通路を進んでいったが、あと一歩のところで大戦艦は飛びたった！

8 シドに聞いた大戦艦の弱点「太陽の炎」の鍵を握るのは「女神のベル」



雪原の洞窟にあるという「女神のベル」を入手するには、ヨーゼフを仲間に。

9 雪原を行くのに必要な「雪上船」を取りにヨーゼフの案内でセミテの滝へ



セミテの滝の洞窟の地下1階の青い石。その横の隠し部屋に「雪上船」が。

10 「太陽の炎」のあるカシュオーン城の扉を開くという「女神のベル」を入手



雪原の洞窟の地下5階の隠し部屋で、壁に埋められたベルを発見したが…。

11 洞窟の出口で待ち受けていたボーゲンと対決。そしてヨーゼフの死！



ボーゲンに勝ち出口に向かうと突然落石が。ヨーゼフは自らその下敷に…。

12 カシュオーン城でゴードンを仲間に加え、「エギルのたいまつ」を入手



たいまつに「太陽の炎」を移し、外へ出ると、飛空船が大戦艦に襲われていた。

13

大戦艦に捕われたヒルダ王女とシドを救出。エンジンルームを爆破！



アルテアの北の補給基地に着陸した大戦艦に「通行証」で潜入。そして…。

14

アルテアで王様の容体が急変。最後の指令をだして、息を引きとった



ミンウ、ゴードン、そしてフリオニールたちに、遺言が残された。

15

女海賊レイラをこらしめると、仲間になった。これで船が自由に使える



王様の言葉に従いディストに向かう途中、レイラと子分に襲われたが…。

16

ディスト城には最後の飛竜が。洞窟で「ペンダント」を手に入れ話すと…



飛竜と話すと「飛竜の卵」を渡され、洞窟の泉に沈めてくれと頼まれた。

17

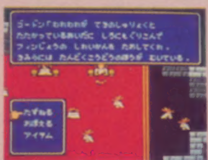
大戦艦から救出した王女は偽者。本物の王女がいるという闘技場に行くと



皇帝のワナにはまり捕まってしまったが、何とか王女を救出し、脱出した。

18

フィン城奪回のための最前線基地としてキャンプを造営。みんなそこへ



アルテアに戻ると誰もいなかった。みんなキャンプへ行き、王女もそこに。

19

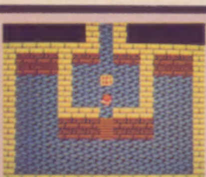
司令官になったゴードンが抜け、3人でフィン城へ乗りこむことになった



フィン城の1階でレイラが加わり、4人で最上階へ。敵の司令官を倒した。

20

フィン城の秘密の扉の場所をポールから聞き、「白い仮面」を地下で入手



究極の魔法の封印を解く鍵のひとつが「白い仮面」。他にもまだ秘密が……。

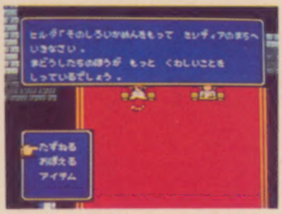
1 白い仮面を手に入れ、ミシディアへ

フィン城

フィン城の地下で、究極の魔法「アルテマの本」の封印を解くカギ「白い仮面」を手に入れたフリオニールたちは、大広間にいるヒルダ王女とゴードンに会った。

ヒルダ王女は「白い仮面」を手に入れたことを知ると、その仮面を持って、ミシディアへ急げという。一刻も早く「アルテマの本」を手に入れ、帝国軍と皇帝を倒すのだ。

しかし、城をたつ前に、もうひとつやっておくことがある。フィン城の鏡の間にある鏡に向かい「ペンダント」を使う。そうすると飛竜の卵が見えるのだ。この先きっと何かあるはずだ。



✪ヒルダ王女もゴードンも、早くミシディアへ行けという





✪✪フィン城の1階、南西のコーナーの階段を上がると、3階にあるのが"鏡の間"だ

2 謎の国、ミシディアをめざせ！

フィン・パルム・ポフト

究極の魔法「アルテマの本」を手に入れるべくミシディアをめざすことにしたものの、それがどこにあるのかさえ知らない。まずはあちこちで情報集めだ。

フィンからパルム、ポフトまで行って話を聞いたところによると、謎の地ミシディアは、パルムよりずっと南の大陸にあり、そこにはこの世界の秘密を記した「古代の書」があるという。

さあ、いよいよ、ミシディアめざして出発だ！



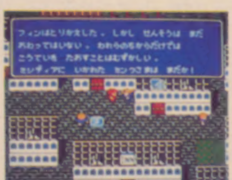
✪大いに役立つミシディアの「古代の書」



✪ミシディアはパルムのずっと南の大陸



✪世界の秘密を記した本がある！



✪ずっと前、ミシディアに行ったミンウは、いったいどうしているんだろう？

3 発見! 魔導師ばかりの魔法の町

ミシディアの町

南の大陸にあるミシディアへは、フィンの南西から歩いていくこともできるが、出現するモンスターは手強いやつばかり。かなり成長していないと、たどりつくのはむずかしい。

しかし、船なら大丈夫。海のモンスターならそう手強くないし、出現率も低い。それに、そのあとの冒険のことを考えると、近くに船を泊めておいたほうが便利だろう。

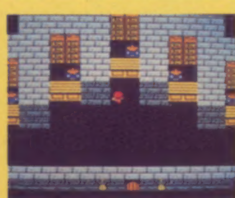
ともあれ船から上陸し、町に入ってビックリ。この町に住んでいるのは魔導師ばかりなのだ。そして、魔法屋は1軒だけとはいえ、5人も店員がいて、さまざまな魔法が売られているのだ。



✪フィンから歩いてもいけるが、船で行ったほうがいい

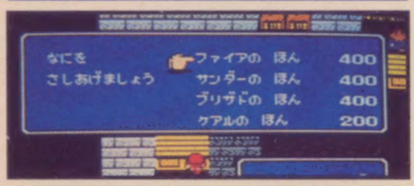


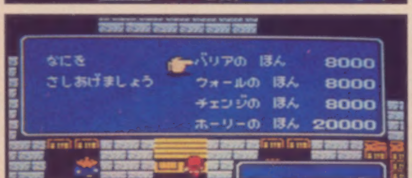
✪この町の住人は、みんな魔導師だ

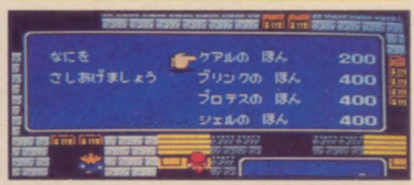


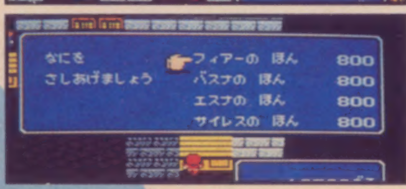
この町の魔法屋には、カウンターが5つもあるのだ!

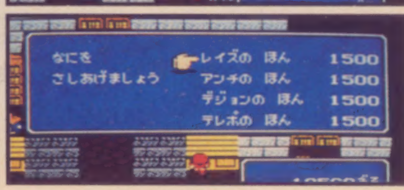
魔法屋(まほうや)



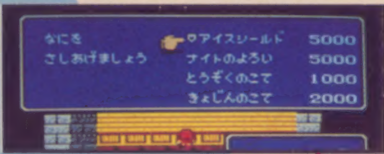








防具屋(ぼうぐや)

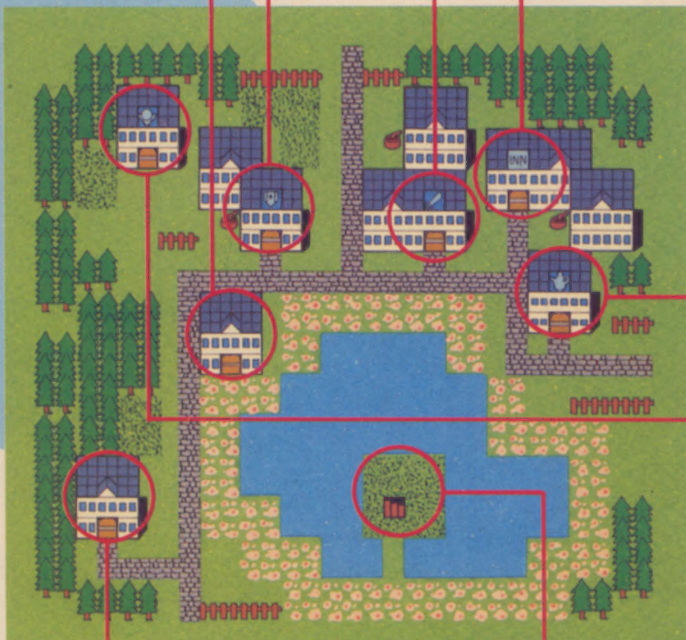


武器屋(ぶきや)



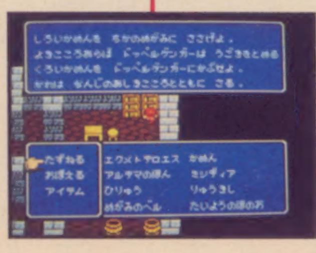
聖堂(せいどう)

宿屋(やどや)

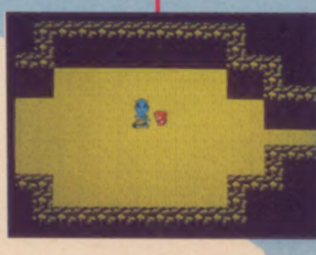


道具屋(どうぐや)

古代(こだい)の書(しょ)の家(いえ)



地下(ちか)の女神像(めがみぞう)



究極の魔法の手がかりを探せ!

ミシティアの魔導師たちはみんな物知りで、聞けば誰でもいろんなことを教えてくれる。1人残らず話を聞いていくうち、究極の魔法のこともだんだんわかってくるはずだ。

でも、それでも、究極の魔法「アルテマの本」の全貌は見えてこない。このほかの情報はどこにあるのか?



塔の封印は3つのものに守られている



2つの仮面をそろえ、この大陸の…



女神像は「クリスタルロッド」を守る



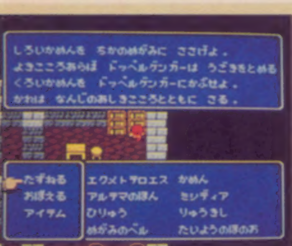
「白い仮面」はあるけれど、「黒い仮面」はまだない!



そうか、アルテアを出たミンウはもう塔に向かったのか

世界の秘密を記した古代の書を調べれば、何かが見えてくる!

フィンやポフトで聞いたとおり、この村には世界の秘密を記した「古代の書」があった。町の南西にある家に入り、その奥にある本棚の前に立ち、調べてみよう。キーワードをたずねると、そのことについて教えてくれる。



ミスリル　強く加工しやすい金属。魔法にもよく反応し、魔法の武器や防具をつくるもととなる。

飛空船　新しい技術の産物。このような技術が増えれば、そのうちに魔法はこの世から消えてしまうだろう。

太陽の炎　まだ世界に国も城もなかったころ、今のカシュオーンのあたりに空から星が落ちてきた。1人の男がその燃えたぎる星から炎を取り、祭壇をつくってまつった。

女神のベル　むかし、宝をよく盗まれていた王は、

地下にまつられた女神像の秘密とは

ミシディアの町の中央にある地下への入口を入ると、女神像がまつられている。この女神像は、聞くところによると、ミシディアの洞窟の地下1階で「クリスタルロッド」を守るドッペルゲンガーを動かしているのだということだ。

では、そのドッペルゲンガーの動きを止めるにはどうすればいいかというと、この村にある「古代の書」にもあるとおり、フィン城の地下で手に入れた「白い仮面」を、女神像にかぶせればいいらしい。



町のまん中にある地下への入口を入っていくと…



クリスタルロッドを守るという、女神像が部屋の中央にまつられていた



「白い仮面」を女神像にかぶせてみると……？

絶対に破られない鍵をつくらせた。最初の鍵は一晩で破られた。次の鍵は二晩で破られた。そして3つめの鍵は破られなかった。王は満足して、その鍵…女神のベル…を雪原の洞窟に隠した。

竜騎士 ディストの島は飛竜の住みかだった。ハーンというナイトが30年かけて飛竜との友情を暖めた。そして彼は、最初の竜騎士になった。

飛竜 竜騎士を乗せて飛ぶようにしこまれた竜。体は比較的小さいが、力は強く、4、5人を同時に乗せて飛ぶことができる。

ミシディア かつて魔導師たちはその力の大きさゆえに、争いに巻きこまれた場合世界を破滅に導くのを恐れ、ミシディアに町をつくり移り住んだ。

アルテマの本 むかし、地獄の魔王の宮殿パンデモニウムが現れたとき、魔導師たちは強力な魔法をつくり危機を逃れた。その後、世界の混乱を恐れた魔導師たちは、巨大な塔をつくり、そこに魔法の秘密を記した本を封印した。

仮面 白い仮面を地下の女神に捧げよ。良き心あらばドッペルゲンガーは動きを止める。黒い仮面をドッペルゲンガーにかぶせよ、彼は次の悲しき心とともに去る。

4 ドッペルゲンガーが現れた!
ミシディアの洞窟

「クリスタルロッド」を求めてやってきたのが、ミシディアの町の東に位置するミシディアの洞窟。

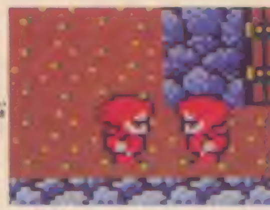
けれどもこの洞窟に入ると、地下1階の階段がある部屋の前で、行く手をさえぎる者がいる。フリオニールたちとまったく同じ姿をしたドッペルゲンガーだ。話しかけると同じことをくり返し、あとをついてくる。

これじゃあ先に進めない。

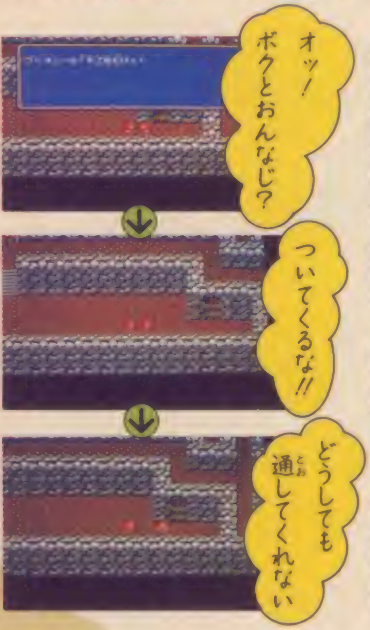
そういえば、ミシディアの町で聞いた話によれば、この洞窟には2つの仮面をそろえてから来るんだった。「古代の書」にもそう書かれている。今はまだ「白い仮面」しか手に入れていない。もうひとつの「黒い仮面」を南の島で手に入れなければ。



ミシディアの町の東の洞窟にクリスタルロッドがあるのだ



自分たちとうりふたつのドッペルゲンガー。どっちがどっち?



自分と同じカッコウのヤツがいる!

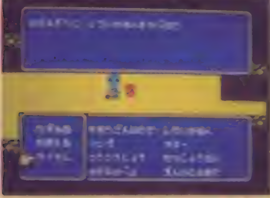
話しかけると、あとをついてくるゾ

このままでは、先に進めない…

ドッペルゲンガーを消してしまえ!

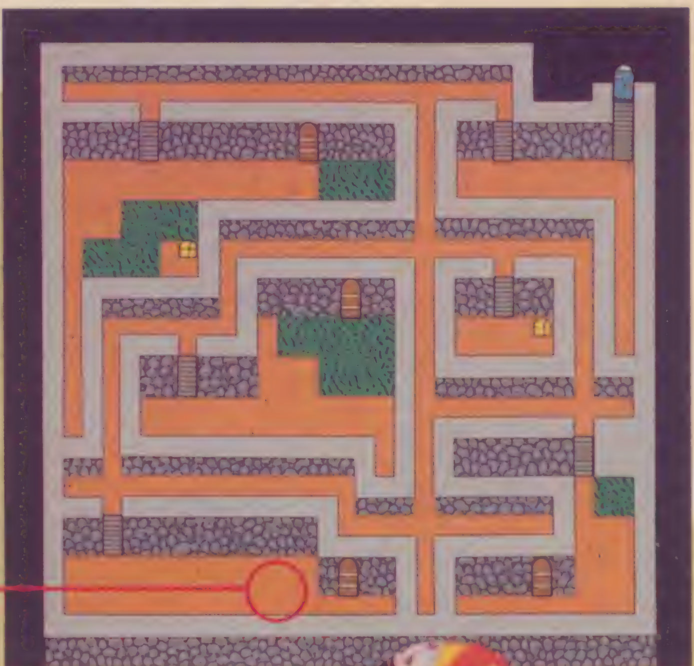
えっ? 2つの仮面をそろえているのに通れない? そういう場合は「古代の書」の「仮面」の項をひもとけば、どうすればいいか書いてあるのでわかる。

まず「白い仮面」をミシディアの町の女神像にかぶせると、ドッペルゲンガーの動きを止めることができる。そして動きを止めたドッペルゲンガーに「黒い仮面」をかぶせると、ドッペルゲンガーは消えてしまうのだ。



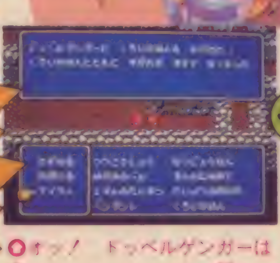
女神像に白い仮面をかぶせておくと…



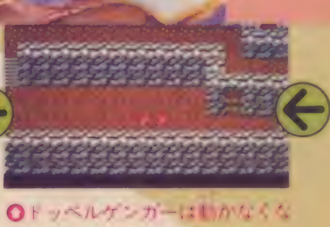




ドッペルゲンガーを消せ!!



○オッ！　ドッペルゲンガーは消えてしまった。これで進める



○ドッペルゲンガーは動かなくなった。こんどはドッペルゲンガーに黒い仮面をかぶせると…

5 黒い仮面がある小さな島の洞窟
南の島

ミシティアの洞窟のドッペルゲンガーを消して先に進むには、「白い仮面」のほかに「黒い仮面」が必要だとわかったわけだけど、その「黒い仮面」、ミシティアの南東の海の真ん中にある、小さな島の洞窟に隠されているという。

この南の島、船でミシティアに行った場合は、ミシティアから船に乗ればいいので、すぐに見つかるはずだ。しかし、他の場所に船をおいてきた場合は、かなりの距離、航海しなければいけない。その場合、Ⓑボタンとセレクトボタンを押して、現在地を確認しながら、確実に進もう。



ミシティアの南東の海に浮かぶ、小さな島の洞窟に「黒い仮面」が



洞窟の中に入ってみると、最初のうちは他の洞窟と変わりないが…

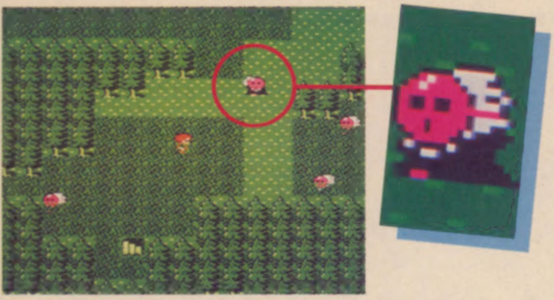
島の洞窟はツタが生い茂り道を隠す

南の島は小さな島で、上陸するとすぐ洞窟の入口だ。中に入っていくと、最初のうちは他の洞窟と同じように見えるが、地下3階に行くと突然、ツタが生い茂り、まるでジャングルのようだ。ほとんど通路は見えず、いったいどこへどう行ったらいいかもわからないほど。

じつはこのツタのからまる洞窟、ツタの下をもぐって進んでいけるんだけど、画面をよく見ていないと、主人公たちの位置すらわからなくなってしまう。行けるはずの道を見逃さないためにも、マッピングしながら進むのがいちばんだ。

ツタのからまるジャングルのような洞窟内の通路。ツタの下をもぐって進めるけど、どこをどう歩いているのかよくわからないほどだ。





洞窟の奥に住む仮面の一族を発見

さらに洞窟を進んでいくと、地下広場に出る。ここには、ヘンな仮面をかぶった、ヘンな言葉を話す、ヘンな原住民が住んでいる。

さっそく、広場をウロウロしている原住民に話しかけてみると、「黒い仮面」はこの一族の宝物だとわかった。しかし、ここにはなく、どこか別の場所にまつられているという。

また、別の原住民の1人に、道具屋もいた。といっても、町の道具屋とは売っているものが違う。魔人のオノ、魔人のヤリ、ルビーの胸あて、大地のドラムと、どれも他にない珍しいものばかりだ。



仮面の一族のなかには、珍しいものを売る道具屋さんがいる

地下5階で、黒い仮面を入手

それじゃ、「黒い仮面」はどこにあるのだろう。ジャングルのようにツタのからまる通路を通りぬけると、地下5階の泉のある場所に出た。その奥の部屋に、宝箱があるのを発見したが、ビッグホーンというモンスターが見張っている。さあ、こいつをやっつければ、宝箱の中から「黒い仮面」を手に入れることができるのだ。



地下5階の奥の部屋に入っていくと…



宝箱と宝箱を守るモンスターが登場



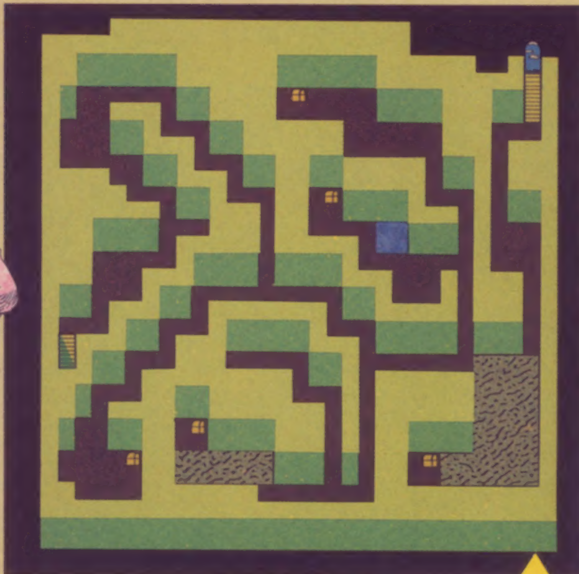


強敵ビッグホーンを倒し、宝箱の中から、「黒い仮面」を手に入れた！



あとは、部屋の奥にあるワープゾーンから、一気に外へ脱出だ！

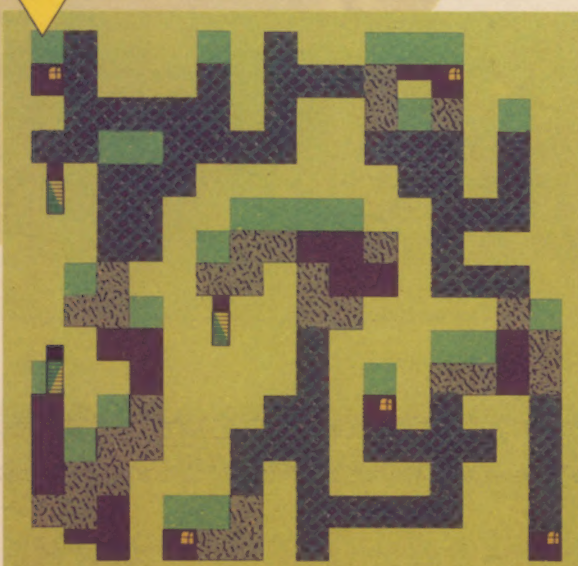
南(みなみ)の島(しま)



B1

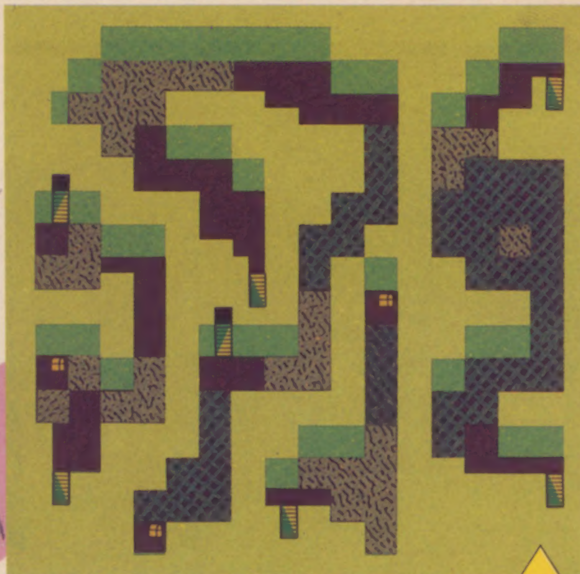


B2









B3



B4、B5へつづく



1989年2月3日発行（毎月第1・第3金曜日発行）第5巻第3号（通巻73号）

